



会長 紺野 広 青少年奉仕 夏川戸 齊  
副会長 橋本 昭一 幹事 松本 剛典  
クラブ奉仕 橋本 昭一 会計 妻神 和憲  
会長エレクト 橋本八右衛門 会場監督 佐々木泰宏  
職業奉仕 道尻 誠助 直前会長 小林 幹夫  
社会奉仕 岡崎 孝文 副幹事 小田山紀暢  
国際奉仕 鶴飼 寿栄 会計補佐 小井田和哉

例会日 毎週水曜日 12:30 例会場 八戸グランドホテル  
事務所 八戸市番町14 八戸グランドホテル内  
電話 (43) 0608 FAX (43) 0661  
e-mail rc8@vc.hi-net.ne.jp  
http://hachinohe-rotary.org/  
会報・広報委員長 峯 正一 同副委員長 上村 奉樹  
同委員 妻神 和憲 同委員 野村 一雄

国際ロータリーのテーマ — 2023~24 — 八戸ロータリークラブのテーマ  
世界に希望を生み出そう 和而不同 (わじふどう)

国際ロータリー会長 ゴードン R. マッキナリー

八戸ロータリークラブ会長 紺野 広

5月 は 青 少 年 奉 仕 月 間 で す  
第3312回例会 2024.5.8

### ゲスト・ビジター紹介

#### ▶ ゲスト

八戸RC名誉会員 熊谷 雄一八戸市長

#### ▶ ビジター

次期ガバナー補佐 島浦 理様(八戸西)

大寫 泰雅八戸西RC会長エレクト

次年度幹事クラブとしてIMそして合同例会でお世話になると思います。よろしくお願ひします。

### 会長要件 紺野 広 会長



今日は八戸市長、熊谷雄一様に御越し戴きました。歴代の八戸市長には、通例で、当八戸ロータリークラブの名誉会員を御引き受け戴いて居ります。ロータリーアンの宗教的、政治的信念は、個人の問題と見做され、クラブとして政治に関わってはいけ無いという原則が有りますが、我々一人一人は、八戸市の市民として、今、行われている行政に対しては、否応無く関わって行く事と成ります。そして名誉会員であり、僭越ですが我々の仲間と言って良い

熊谷雄一市長が、トップとして市政を牽引して下さって居られます。ですので、クラブとして、政党、政治に関わると言う事では無く、同じ八戸市民、同じ八戸ロータリークラブの仲間として、是々非々は有ろうとも、市政を支えて、共に街を作って行く責務が我々には有るのでは無いかと思っております。街を作り、人を育てる。其の一助と成る。其れこそが、ロータリーに求められるものです。

今日は選挙後2年以上が経過し、任期の半分以上を務められました熊谷市長に、今迄の市政を振り返って頂くと共に、任期の後半部、此れからの課題を御話し戴ける事と成っております。我々の生活に直結する市政に関して、どう言うビジョンを御持ちなのかを、御伺い出来る事かと存じます。此れからの市政に関して共通認識を持てれば良いなと思っております。質問の時間も取れる様、御願ひして居りますので、身内の者、仲間として御質問、そして御意見を申し述べて戴ければと存じます。

熊谷市長、本日は御越し戴き誠に有難う御座いました。又、御氣遣いを頂戴致しました事に対し、重ねて感謝を申し上げます。

## 幹事報告 松本 剛典 幹事



- 5月ロータリーレート  
1ドル=157円
- 台湾東部沖地震支援金について

今日現在で33万円ほどの支援金をいただいています。まだ15名ほどいただいていない方がおられますので、事務局から再度お願いのご連絡を差し上げたいと思います。期限は17日ですので、支援金がまだの方はぜひともよろしくお願ひします。

○能代RC2クラブ合同ゴルフコンペ親睦会について

現在参加は3名の方です。まだ余裕もありますので、もし参加してもよろしい方は事務局までご連絡をお願いします。

## 委員会報告

親睦・会場委員会 増田 敏委員



- ニコニコボックスの報告  
島浦 理さん

次年度ガバナー補佐の島浦です。よろしくお願ひ致します。

大寫泰雅さん 7/25南グループ合同例会おまちしております。

- ・誕生祝 上村奉樹・中村稔彦さん
- ・奥様誕生祝 加藤範尚さん

山村和芳 } 八戸市長熊谷雄一様、卓話  
小井田和哉さん } よろしくお願ひ致します。  
橋本八右衛門さん 例会に久しぶりに参加です。今年度のうちに休みだめしているわけではありませぬのでお許しを。

道尻誠助・小田山紀暢 } ニコニコデー  
山田慶次さん }

青少年奉仕委員会 夏川戸 齊委員長

皆様にメールでも配信しておりますし、前回の例会で皆様にRYLAのご案内をしておりますが、今のところ申し込みはありません。



わがクラブからガバナーと会長の二人が講師として参加しますので、ぜひとも皆さんの会社、親戚、お知り合い等など、参加は無料ですのでたくさんお申込みいただきますよう、重ねてお願ひをいたします。お金はちょっと高いですが、ロータリアンの方も参加できますので、ぜひ参加申込みをお願ひいたします。

## 災害関連卓話

中村稔彦さん（株式会社中栄建設）



東日本大震災のときの復旧の支援協力についてお話しします。写真を見ていただければと思います。

われわれ建設業に関して業界がいくつかありますが、八戸建設業協会には会員の寺下一之さん、地代所久恭さんもわたしもこの協会に入っています。災害時における支援協力に関する協定はずっと前から結ばせていただいて、八戸市、水道企業団と協定を結んでいます。

もう一つ青森県建設業協会八戸支部もあり、こちらの会員もだぶっている会員が多いのですが、こちらには青年部があります。こちらで馬肉鍋の炊き出しを湊公民館でやりました。

3月11日の東日本大震災の数日後に八戸市から同協会に対して要請がありました。内容は津波によって道路へ流入堆積した土砂の撤去および通行障害物等の撤去の要請がありましたので、この協会内で出勤できる人数や機材、燃料、調査をすべて行って協会内でその後の復旧作業に取り組みました。特にわれわれは新湊地区、鮫、南浜地区をメインに行いました。写真をご覧になると当時の状況がイメージされるかと思います。

あとは津波により被災した農地、畑の除塩。塩を被っているので除塩作業、流木、がれきなどの撤去、用水路に流入堆積した土砂の撤去、被災家屋の解体撤去などを行っています。がれきの量も半端ではなく、置き場所が不足していることもあり、当協会会員の所有地を

仮置き場として提供することも行いました。この辺の撤去作業が終わってから復旧工事がスタートしています。主に公共建築物の修繕、北防波堤が壊れましたし、浚渫作業などを行っておりました。

清掃業ではこちら問題なのは災害ゴミがあります。家財道具、畳などもたくさん出てきます。この災害ゴミは普段は一般廃棄物の収集、運搬をやっている業者に災害ゴミの協力要請がありました。こちら基本的には収集運搬ですが、清掃業と建設業を被っている業者がたくさんあり、重機を持っている業者もたくさんいますので、建設業と似たような感じでごみの収集運搬もしております。もちろんゴミは多種多様、いろんなゴミが混じりますので、できるだけ分別を行って清掃工場や天狗沢の最終処分場に持って行きました。民間では東京鉄鋼、セメント工場に持って行って焼却などを行ってもらいました。

この津波災害がただの地震とは違うのが、汚水、汚い水を被ってしまうことになるので、どうしても量やいらぬゴミが出てしまうので、です。ゴミの処分量が増えてしまいます。結果的に169,000トンの災害ゴミが発生しました。ちなみにこれは八戸市の年間に発生している一般ごみの約2倍、2年分だということです。

個人的な話ですが、被災住宅の調査も行いました。これはわたしは青森県建築士会に所属しています。被災建築物応急危険度判定というのがありますが、これは地震が発生した際に被災した建築物の危険度の情報提供や二次災害の防止などを目的として余震などによる倒壊、落下物、転倒物などの危険性を判定する制度がこれになります。

今回の能登地震の時もカメラの映像でチラッと出てきましたが、赤・黄・緑の紙があります。これは各県によってじゃっかん違いますけどほとんど一緒です。判定するのは講習会を受ければ判定士になれますが、建築士の資格を持っているとできます。判定士を受講した人は二人一組になって被災建築物を判定して歩くことになります。赤い紙が貼ってあ

るのはほぼ入らないでくださいというイメージでとらえてください。入口部分に紙を貼ります。ほぼ全壊に近い、入ると危険ですよというものには赤い紙を貼ります。これはあくまでも二次災害、更なる被災を防ぐためのもので、役所の被災証明書の判定とはまた別のものです。こういうこともやりました。

青森県建築士会三八支部がありますが、地震の少し前、当時わたしは青年委員長をやっていました。その時に渡辺孝さんも参加していましたが、家具の転倒防止などを小学校に出前授業としてやっていました。各小学校で子どもたちを集めて、学校内の危険な場所を探そうというワークショップを行いました。ワークショップで出たところを今度は家具の転倒防止対策として例えばL型金具を取り付けるなどの作業を、子どもたちを交えてやったりしました。それは学校内の危険な箇所を探そうということでそういうふうな活動もしていました。その後、ちょうど東日本大震災が来ましたので、それが役に立ったかどうか。子どもたちのためにもなったのではないかと考えています。ということで、当時は活動を行っていました。

次期ガバナー補佐 島浦 理様（八戸西）

次年度南グループガバナー補佐を仰せつかりました八戸西ロータリークラブの島浦理です。八戸西ロータリークラブは初めての幹事クラブで、次年度大島会長と一緒にやっていきたいと思っておりますので皆様よろしくお願ひします。きょうは次年度のスケジュールだけをお伝えします。

7月25日(木) 南グループ合同例会  
八戸プラザホテル  
奮ってご参加ください。

2月22日(土) 南グループIM  
皆さんご参加よろしくお願ひ  
します。

ガバナー公式訪問は八戸ロータリークラブは7月3日です。初めてのガバナー公式訪問で緊張していますので、皆さんお手柔らかにお願いします。

## 八戸西ロータリークラブ

大瀧泰雅会長エレクト

八戸西クラブの話をさせていただきます。  
わたしは老人ハウス ほっとハウスという熊ノ沢にあります老人ホームを運営しています。施設の目の前には赤澤さんの熊ノ沢温泉があります。わたしたちの施設のお風呂は赤澤さんのお湯を分けてもらいながら運営しています。老人施設は5月1日に20床のベッドを増やして70床になりました。最近は入る方も少なくなってきた、特別養護老人ホームにはま

だ空がありますので、お知り合いの方で困っている方があればお声がけいただければと思います。

西ロータリークラブは来年度で認証9年目のスタートになります。まだまだ若いクラブですので、来年度幹事クラブを仰せつかったのもひじょうに荷が重い気でおりますので、皆さま先輩方のお力をいただきまして、気力、やる気だけはありますので、来年度一年間ご指導ご鞭撻をいただければと思っております。来年度よろしくお願いたします。



## 「ひと・産業・文化が輝く北の創造都市」

熊谷雄一 八戸市長



きょうは八戸ロータリークラブの皆様の前で講演する機会を頂戴しましてまことにありがとうございます。また1月には災害協定も締結いただきまして改めて感謝申し上げます。実は一昨年の11月にも一度ここで話をさせていただいております、昨日気がついたので、「人、産業、文化が輝く北の創造都市の実現に向けて」というタイトルはまったく同じですが、いわゆるこれが今八戸の掲げている将来像ですが、じゃっかん前回とかぶるところもありますが新規の話もがございますので、ご清聴いただきますようお願いいたします。

本日はこのような内容でお話をさせていただきます。八戸市の概要。これも前回、市長に就任して間もなく2年半になりますが、何回かこういう講演をさせていただいておりますが、まずこの画面を出させていただいております。

八戸の歩みはこの通りですが、特に赤字で書いている3つ、これがやはり八戸の発展の節目だと思っております。1つは昭和39年新産業都市の指定。1つは平成14年東北新幹線八戸駅開業。もう1つは先ほど災害復旧の話もありましたが、平成23年東日本大震災発生からの復旧復興。この3つ、特に昭和39年新

産業都市と平成14年新幹線開業はやはり民間と行政は本当に連携を強固にして取り組みをしてきたと思っております。特に会議所と市役所の連携を図ってきたのではないかと考えています。今そういう機運をもう一度醸成させたいという思いがあります。実は商工会議所の各部会との意見交換も今申し入れをしていて、今年度～来年の2か年かけて実施することにしています。

人口・経済・交通ネットワーク：

第7次八戸市総合計画：昭和47年に最初の総合計画ができていますが、わたしが就任した翌年からこの第7次総合計画がスタートしています。「人・産業・文化が輝く北の創造都市」というのを将来像として掲げております。

総合計画に3つの行動指針を掲げています。

1) まちづくりの視点： ②SDGsの視点が特色だと思っております。

2) まちづくりの推進体制：多様な主体が参加したまちづくりの推進…今一番力点を置いています。例えばロータリークラブさんをはじめいろんな主体に参加していただきながら、まちづくりを推進していきたいと考えています。

行財政改革の推進：今年度は新しい行財政改革大綱の策定の時期となっておりまして、昨日推進本部も1回目の会議を行ったところです。

自治体間の連携の推進については後ほどお話しします。

3) まちづくり戦略：計画自体は5年計画ですが、確実に1年ごと進めていくために単年度の戦略を策定しています。未来競争推進戦略2024で今年度の戦略が4月からスタートしています。

戦略ですが、令和6年度重要課題そしてそれに対応するべく9つの戦略を掲げています。戦略は今回で3回目ですが、過去2回はコロナ対策が戦略1でしたが、今年度からきっきんの課題の対応ということで物価高騰、物流2024年問題、人材の確保育成を戦略1に掲げています。これからこの9つの戦略に基づいて200の事業が行われておりますが、その代表的なものをいくつかご紹介させていただきます。

1) 産学官連携による八戸未来創造事業：これまでの産学官の連携を図ってきておりますが、一昨年八戸地域学をスタートしております。大学生に地元のことを分かってもらうために、八戸のことをわかってもらうための講座を開いています。これはたぶん今先生だと思いますが、わたしも1回講師を務めさせていただきました。地域のことをわかっていただいて、なるべく地元定着を図っていくという目的があります。

今年度新たにスタートするのが2 人材活用によるニーズ調査：先ほど申しあげました各企業とも人材の確保育成が課題になっております。どのような人材が必要なのか、そしてまたこれから外国人人材の活用ということも出てくると思いますので、どういう方策がいいのかをニーズ調査をした上で産学官連携で取り組みを進めることにしております。

2) 港湾物流効率化支援事業：物流の2024年問題、特にトラック輸送がなかなか厳しくなるという中で、国の方ではモーダルコンビネーションという考え方を出示してきました。これは多様な輸送手段の組み合わせによって物流を推進していくという考え方ですが、八戸市はご存じの通り陸・海・空の交通の結節点になっておりまして、このモーダルコンビネー

ションの適地ではないかと考えております。

例えば具体的に津軽のリンゴを今までは他の港から積み出しをしたものを八戸港まで持ってきて、八戸港から積み出しをするというトライアル事業を今まで2回やっております。今まで他の港を使っていたものを八戸港を使った場合の補助制度を今年度からスタートします。それから事業者の中でIT技術の導入、あるいは自動フォークリフトの導入、運びやすいような共通のパレット・コンテナなどを導入する事業者に対する補助事業も今年度からスタートすることにしています。この物流2024年問題、戦略的に取り組みを進めていきたいと考えておまして、まだわたしの頭の中ではありますが、ここに向けた特別な会議も設置していきたいと考えています。

3) 新産業団地整備開発事業：ご存じの通り、北インター工業団地はほぼ満杯でして、今第二工業団地の整備を行っています。じゃっかん遅れ気味ですが、今年度中に募集受付を開始いたします。現段階でかなり問い合わせが来ておまして、この団地を活用しながら企業誘致をさらに進めてまいります。

4) 養殖業成長産業化支援事業：水産資源は今本当に枯渇する中であっても、水産業の将来を展望したいということで再三アカデミーを設置し、その中で作り育てる漁業専門部会を設置し、今いろいろ協議をしています。段々と関心をもって取り組みたいという事業者も出て来ておまして、それを後押ししていくための支援事業補助金も今年度から創設して実施していくところです。

5) 八戸市窓口業務改革プロジェクト：デジタル化、これはデジタル推進計画を作って着実に進めています。中核市の会議もたまに出ますが、中核市の中でもデジタル化は八戸の場合は進んでいるほうだと思っております。そういう中で今年度から窓口業務改革ですが、連休中に地元紙の一面に県内でも「書かなくてもいい窓口」がだんだんと進んでいるという記事がありました。八戸の場合は“書かない”だけではなく、“待たない”“来なくてもいい”窓口サービスの導入を今検討していま

す。

書かない…マイナンバーカード、待たない…スマホから予約ができる、来ない…キャッシュレス決済。これを結び付けて改革をするということで、実は総務省のモデルプロジェクトに選ばれました。全国で10地区、約1億の事業です。この事業を活用しながら窓口改革プロジェクトを進めることにしています。市の職員に実際に窓口を体験してもらって、どういう不便なところあるかをまとめあげた上で庁内業務の効率化。特に1階を中心に庁舎内レイアウトも最適化する方向で今検討しております。

6)再エネ省エネ設備導入促進事業：いわゆる燃油価格が高騰していることとカーボンニュートラルの対応に向けて、去年新しい環境の計画も作って取り組みを加速させていきたいと関心しておりますが、その中で今年度は再生可能エネルギー設備、省エネルギー設備。具体的には太陽光発電設備、蓄電池、高効率空調機器を導入した事業者、個人どちらでもそこに対する助成もスタートします。ぜひご活用ください。カーボンニュートラルの取り組みも進めて参ります。

7)中心街ストリートデザイン事業：今中心街につきましてはチーノの再開発事業を進めています。加えてメインの国道340号（十三日町から三日町）を歩いて心地良い空間を作ろうということでストリートデザイン事業を行っております。昨年の8月末から9月上旬にかけて、三車線を二車線にするような形で“道ニワ”という実証試験を行いました。その結果を踏まえ、またいろんな意見を頂戴しております。デーリーさんのこだま欄にもいろんな意見を頂戴しておりますが、そういうことを踏まえて近々このストリートデザインビジョンを公表します。その上でもう1回パブリックコメントをした上で、これは県との連携事業になるのですが、県に提言をして、そのビジョンに基づいて整備をしていきたいと考えております。このような取り組みをしながら、中心街の再編も進めて参りたいと思います。

8)八戸市観光振興プラン策定事業：しばらく八戸市で観光振興プランを策定しておりませんでした。今アフターコロナになり、それからかなりインバウンドも増えているということで、新たな観光振興プランを今年度中に策定しまして、VISITと連携しながら観光振興に努めて参ります。

9)八戸駅前広場整備事業：先日、西口の方にトランポリンパークがオープンし、にぎわっておりました。東口もすでに計画と方針は出来上がっております。それに基づいてこのような図面のように今年度現地測量をし、来年度実施、設計。8年度の工事着手ということで今進めております。このような形で八戸駅前広場も進めていきます。

10)こどもの声を聞く機会創出事業：いろんな団体や市民の意見を聞きながら、まちづくり市政を行っています。今回は国のこども庁の影響もありますが、こどもの声も市政に反映させようということで、こどもモニター制度、こどもまちなかIT部、中心街にこどもの部室を作って情報発信をさせてみようということで今進めております。子ども版市のホームページも作ることにしていて、こういう取り組みをしながらこどもの声を市政に反映していくのと同時に、やはり子どもの頃からまちづくり、八戸市に関心をもってもらって、地域への愛着を醸成させていきたい、そういう目的もあります。

11)こどもの国：三八五さんに管理していただいています八戸公園こどもの国に大型遊具を令和4年から設置しています。4月29日の春まつりのオープニングに行きましたが、ものすごい渋滞でにぎわってました。その中で子育て世帯からやはり外で遊べるような空間が欲しいというような声がひじょうに大きかったので、令和4年度から7年度までかけるのですが、今徐々に大型遊具を設置しております。障害のあるこどもも遊べるように、インクルーシブゾーンを設置しております。こんな取り組みをしながら、こどもファースト、子育て事業も進めて参ります。

12)八戸市まちの魅力創生ネットワーク会議

**運営事業：**きのうもそうですが、地元紙の一面を飾っておりましたが、いわゆる「消滅可能性都市」、消滅してしまうのではないかとされている都市の一つに八戸市も入っています。要するに人口減少問題です。特に若い女性が流出していく可能性が高いところが人口消滅の可能性が高い、というふうなレポートになっています。実は八戸市といたしますと一昨年からその若者、女性にとって魅力あるまちづくりに向けて協議をしていただき、市に提言をしてもらうためにこのような会議を設置しました。皆さんの企業にもご協力いただいているところがあるかもしれませんし、教育機関にもご協力いただいております。青年会議所、商工会議所青年部にも入ってもらいまして、いろいろと精力的に会議を行っていただきました。

2年間やって1つの方向性として、子育て支援が充実しているということがやはり若者、女性にとって魅力のあるまちづくりだなという視点のもと、先ほどもこどもの声を聞く機会創設事業もそうですが、17事業を上げていただいて、それをぜんぶ提言をもらうだけではなく、市の担当職員と意見交換をした上で具体的に予算化していきました。このやり方をすることによって、若者、女性に寄り添った、あるいはその感覚を取り入れた事業をこれからも実施していきたいということと、実際にこういうふうに予算化したことを見せることにより、若者・女性にもどんどんまちづくりに参画している意識をもっていただきながら、これからもいろいろ提言をいただいて取り入れて、若者・女性にとって魅力のあるまちづくり。それが結局は人口減少対策につながると思っておりますので、この取り組みを進めてまいります。

#### 13) 地域の底力実践プロジェクト促進事業：

皆さんそれぞれご自宅に帰ると地域があるわけです。その地域にそれぞれ特色があります。ここでいえば鮫、長者、白銀など挙がっていますが、その特色を生かして地域の活性化につなげて欲しいということでこの事業を行っています。

先ほど申し上げました新幹線西口のランポリンパークのオープンの日に隣の駅前のシンボルロードを使いましてイベントが行われました。実は西地区の地元の上長の方々による事業なんですけど、1年目は地域の底力事業を活用して市の補助を使ってイベントをやっていただきましたが、今年この間のイベントに関しては地域の方々が自主的に協賛金集めをして、市の助成まったくなしでああいうイベントをやっていただいています。

わたし共からしますとひじょうに理想的な形でまちづくりが進んでいて、その地域のいろんな資源を活用しながら、それぞれの地域の活性化につなげる取り組みも継続してまいります。

14) **連携中枢都市圏：**皆さんご存じだと思います。以前は市町村合併を匂いにも目指しておりましたが、今は合併ではなく周辺の町村と連携をしながらいろんな事業をやっていきます。東京有楽町の8ベースもそうです。大切なことは信頼関係を創り上げていくことだと思っています。首長同志がしょっちゅう集まって意見交換をしたり懇親会をしたりしております。なかなか八戸だけではできないことを周辺町村と一緒にやって取り組むように進めて、圏域全体の発展を目指してまいります。

15) **市長との公民館サロン：**一昨年から行っています。県会議員のときに地域を回っていると、中心街もいいんだけど、やはりそれぞれの地域の身近な道路、身近な公園あるいはコミュニティをちゃんと見て欲しいという意見をたくさんいただきました。そこで市内に23、4の公民館がありますがその公民館単位ごとにその地域の課題を出してもらいましてその課題のある現場にわたしも足を運んで見た上で、このようにサロン形式で地域の代表の方、約10人くらいと意見交換をします。職員も入りますが、職員が入った意見交換だとガチンコになってしまうので、職員は見てもらって、わたしと地域の方々とのやりとりを聞いてもらって、それを市役所に持ち帰って、すぐ解決できる課題については道路整備、公園整備などすぐできるものはすぐ

解決につなげていき、できないものは引き続き意見交換をしながら共同のまちづくりという形で進めています。去年の11月で一巡しました。けっこう各地域からも好評で、今年度も二巡目を行うことにしております。

**16) 公共施設有効利用促進事業：**ご覧の通り、Y Sからはっち、マチニワ、美術館の公共施設ができております。これを有効活動するためにもっと市民の方にこの施設のことを知って欲しいという思いから、見える化シートを作って公表しました。それぞれの公共施設の設置目的、どういう事業が行われているのか、そして経費がどのくらいかかっているのか、収入がどのくらいあるかなどをぜんぶ見える化して、その上で市民アンケートをとりました。

アンケートも選択だけでなく自由記述を多くして、そのアンケートの結果に基づいて今いろいろと公共施設の使い方を工夫しています。ブックセンターもいろんな意見があったのですが、親子で来られるような施設にして欲しいという意見を踏まえまして、今絵本を前面に出すようなレイアウトになっています。美術館もこれもいろんな意見をいただいておりますが、徐々に徐々に美術館のコンセプトを理解してもらわなければいけないと思っております。今ちょうど貯蔵品の展示をしており、ちょっとおもしろい仕掛けもしておりますので、すぐ近くですので美術館に寄っていただければと思います。いずれにしても公共施設を有効活用するのはこれからの八戸にとってまちづくりのkeyだと思っております。どんどんどんどん使っていただけるように工夫してまいります。

**17) 今年度のトピックについて：**いかずきは誕生して15年くらい経ちます。去年の10月も全国の市長・市議会議員に来ていただいて全国都市問題会議をやったときもひじょうに人気がありました。今小学校にも出張して、ひじょうに人気があるということで、もう少しこれを活用したいと思いラインスタンプを制作しましたのでご活用ください。

みちのく潮風トレイル全線開通5周年を今

年迎えます。蕪島から福島県相馬市までですが、今月26日に潮風トレイルinはちのへを実施します。王林さんもいらっしゃいますし、ポケモンも登場するというので、これは国がやるのですが、今ひじょうに参加者数が増えているということで、こういう取り組みをしながら種差海岸のPRにつなげてまいります。

朝市サミットを19日～20日にやります。こういうイベントもどんどん誘致して活性化につなげてまいります。

今年の2月にY Sで国際大会を開催することができました。11月にも4大陸大会を予定しております。2月もひじょうに盛り上がって経済効果もありましたので、こういう取り組みをしながら世界に向かって氷都八戸をPRしてまいります。

新大橋整備事業は7年度までかかるものを1年前倒しで今年度中に完了することにしております。

対話と共感を大切にしながら、市民との対話。対話ができないときにはなるべくわかってもらうための情報の発信の仕方も工夫しています。広報はちのへもリニューアルしましたし、SNSの発信も見やすいようにしています。議会との対話も大切です、職員との対話も今、心がけています。きょうの夜もグランドホテルで新採用職員と懇親会をやることにしています。若手職員も市長室に来ていただいて、いろいろ業務改善や今後の市のあり方についての意見交換等もやっております。いろんな方々との対話を大切にしながら共感を生み、これからも市政運営に努めてまいりますので、皆さま方のご協力をよろしくお願い申し上げます。ご清聴まことにありがとうございました。

#### 質疑応答

**Q 1 (築館智大)：**ここに来る途中で美術館を曲がる時にひじょうに大変です。交差点が電柱の地中化をいろんなところでやられていますが、市庁周りから先にやったほうがい



いんじゃないかと思っています。

先日朝市に行ってきました。わたしは昔から朝市が大好きで、季節がわかるのでよく行っていました。連休中はメチャ混みで、全然行く気がしないという感じくらいすごかった。車も止められない。ですから観光はわかりますが。元々朝市は地元の人たちのためにあるようなものを観光に使うのはどうかという気もして。そのために観光の方は八食を作ったのではないか。その辺もちょっとした住みわけもあったらいいのでは。

わたしは小中野の人間ではないのですが、JRの高架がありますよね。よくBSなんかのテレビを観ているとヨーロッパなどはああいうところに何かおしゃれなショッピング、おしゃれな小物を売っているお店をガラッと並んで花壇を作ったり、ああいうところを捨てておかないで、あんなのをやったら若い人たちはどんどん来るのではと聞きながら思っていました。

A1：道路の件も意見として承わっておきます。朝市はすごかったそうですね。朝市サミットのときもすごいだらうと思います。その辺の住みわけも難しいと思いますが。市民にとっては大変なところもあるかもしれませんが、ただ活性化にはつながっていると思いますのでご理解いただきたいと思います。

小中野は今けっこうおもしろい町づくりが出てきています。お店もそうですし、夜店も工夫するやに聞いております。今のご意見も小中野の方にもお知らせしたいと思います。ありがとうございました。

Q2（村上壽治）：少子化で国をあげてやっていますが、子供を育てるのはひじょうに大切ですけども、産ませなければ問題は解決しないと思います。消滅都市報道もショックでしたが、いかに産ませるか。今出会い系アプリがありますが、あれも悪い面もあります。いい面もあってどんどん見合いをしているようです。いかに産ませるか。わたしは八戸市として全国に先駆けて結婚した方に新婚旅

行の費用は市が出してやる、あるいは式場のホテル代を出してやるという結婚に有利なサポートをしてあげればいいと思っています。一番結婚しない理由は経済的な問題です。アンケートをとると経済的な問題で結婚できない人がけっこういるそうで、八戸市として全国に先駆けて結婚する方の費用を出してやる。どういうふうにするかはわかりませんが。八戸市では出生率は年間2000人くらいですか？一人10万円として2億、3億。そういうアイデアとして八戸が先駆けてやってはいかがでしょうか、という提案です。

A2：出会いの場から作った上で結婚に結び付けるということは大事だと思います。今のご意見として参考にさせていただきます。ありがとうございました。

司会：熊谷市長さんありがとうございました。今一度拍手をお願いいたします。

#### 閉会講評

皆、勝手な事を申してどうもすみませんでした。我々、市長に期待する処も非常に大きいのですが、対話の機会を積極的に作り、聞く耳を持って、色々な施策を進めて戴いて居るのが卓話から良く伝わって参り、安心致しました。

又、今年度は、市と当クラブの間で取り交わした、大規模災害における相談業務の支援協力に関する協定締結式にも御越し戴きました。互いに調印した協定書を紙切れで終わらせ無い様に、当クラブは今、クラブ会員の皆から其々の会社の災害時対応を聞いて災害の知識を深め、クラブとして実災害時にどう動くべきか検討を進めて居る処です。そして、市と協定を結びましたので、市の災害対応の概要も、知っておきたいと思い、6月19日、今年度の最終例会の一つ前の例会で、八戸市危機管理部次長、館合裕之様に詳しく御話し戴く事としました。ですので、今日の御話しに、災害関連の事を入れて戴く事は、敢えて御願い申し上げませんでした。其の他の多

くの分野に関する本日の御話しは、一步一步市政が進んで居る事を実感させて戴ける素晴らしい物で有りました。

令和3年11月17日に市長に御就任なされ、名誉会員を御引き受け戴いた其の時から熊谷市長は我々の仲間であります。施策をやる為には、推進力が必要です。我々一人一人が、八戸ロータリークラブが推進力の一つと成る

様、此れからも、御仲間として御支えして参りたいと思います。

熊谷市長、本日は御忙しい中、そして、今年度は2度も足を御運び戴き、心より感謝を申し上げます。此れからも、御身体に気を付けながら、頑張っ戴きたいと思ひます。本当に有難う御座いました。

出席報告						出席委員会	
第3312回例会（5月8日）				第3310回例会（4月17日）			
出席率		65.1%		出席率		100%	
総会員数		65名		出席数		41名	
出席義務会員		63名		出席義務会員		0名	
出席免除会員		2名		出席免除会員		0名	
欠席数		22名		欠席数		0名	
修正出席率				修正出席率		100%	
メイクアップした人数				メイクアップした人数		0名	